

平成25年度 第四回森林環境保全基金運営委員会

資料2

～平成25年度森林環境税活用事業評価シート～

高知県

日時:平成25年1月9日(水)10:00～15:00
場所:高知共済会館4階会議室「浜木綿」

目次

1. 公益林保全整備事業（林業改革課）・・・・・・・・・・ 1
2. みどりの環境整備支援事業（林業改革課）・・・・・・・・・・ 3
3. 集落ぐるみ捕獲推進事業経費（鳥獣対策課）・・・・・・・・・・ 5
4. 希少野生植物食害対策事業（環境共生課）・・・・・・・・・・ 7
5. 環境学習推進事業（生涯学習課）・・・・・・・・・・ 9
6. 森林環境保全事業（高等学校課）・・・・・・・・・・ 11
7. 山の学習支援事業（林業環境政策課）・・・・・・・・・・ 15
8. 森づくりへの理解と参加を促す広報事業（林業環境政策課）・・・・・・・・・・ 17
9. こうち山の日推進事業（林業環境政策課）・・・・・・・・・・ 21
10. 森林保全ボランティア活動推進事業（林業環境政策課）・・・・・・・・・・ 25
11. 運営委員会等開催費（林業環境政策課）・・・・・・・・・・ 27
12. 木の香るまちづくり推進事業（木材産業課）・・・・・・・・・・ 29

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初)中間・実績

担当課・係名	林業改革課
担当者	吉門 正広
内線	4602

1

① 事業名	・細目事業名：緊急間伐総合支援事業 ・細々目事業名：緊急間伐総合支援事業 ・当該事業名：公益林保全整備事業
大区分	森林環境の保全を進める事業
小区分	森林整備

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)		0	0	0	143,300	100,000
② 財源内訳	森林環境税				143,300	100,000
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	Ⅲ～Ⅹ齢級の保育間伐による森林整備。 当該事業にかかる補助金交付申請、交付決定、検査、確定及び執行管理等の事務。 関係機関へのPR。
----------	--

④ 事業内容(手段)

- 交付対象の森林
Ⅲ～Ⅹ齢級の保育間伐による森林整備。
- 交付の条件
保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能別施業森林において集約化が図れず、国庫補助事業の対象とならない森林。
上記の要件を満たしたものについては、森林所有者の負担を軽減することにより、森林整備の推進を図る。
また、間伐の推進について、市町村広報誌への掲載依頼や林業関係機関誌等へ掲載するとともに、森林環境税のPRを図るため、さんSUN高知への掲載や関係機関等に対してチラシ、パンフレットを配布する。

【平成25年度計画】 実施面積 1,250ha

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景) 事業開始年度 平成24年度

森林の多面的な機能を持続的に発揮させるため、未整備森林等における間伐を積極的に実施するとともに、森林所有者の負担を軽減を図るよう取り組んでいる。
しかし、平成21年12月に国が「森林・林業再生プラン」を策定し、10年後の木材自給率50%以上を目指すこととされた。このため、造林事業は、平成23年度の制度改正に伴い、間伐の採択要件として施業の集約化及び間伐した材を1ha当たり10m³以上搬出することが必須条件となった。
また、森林整備加速化・林業再生事業については、平成23年度補正予算(第3次)において、東日本大震災の復興に必要な木材を安定供給する体制を構築する目的で、平成26年度まで期間の延長が決定されたが、当該事業の目的が造林事業とほぼ同様の条件となり、国庫補助事業の全てが、搬出間伐にシフトした内容となった。

⑤ 目的とねらい

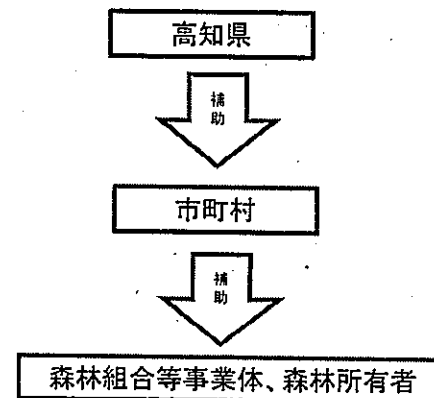
(本事業の目的)
水源かん養機能等の公益的機能が高い人工林の保育間伐を推進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を図る。

(意図すべき成果)
森林吸収減効果の高い森林の整備及び荒廃森林への移行を防止し、将来にわたり健全な森づくりを推進する。

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)

- 森林所有者
- 保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能別施業森林であり、かつ、集約化が図れず国庫補助事業の対象とならない、Ⅲ～Ⅹの人工林の切捨間伐。

【補助の流れ】



平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業改革課
担当者	吉門 正広
内線	4602

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	事業実施対象件数	833		
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	森林整備面積 (ha)	1,250		
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	1ha当たり事業コスト (間伐)	80,000		
	算定式 事業費÷事業実施面積 円			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明 (担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等 (委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初・中間・実績)

担当課・係名	林業改革課
担当者	吉門 正広
内線	4602

2

① 事業名	・細目事業名：みどりの環境整備支援事業 ・細々目事業名：みどりの環境整備支援事業 ・当該事業名：みどりの環境整備支援事業
大区分	森林環境の保全を進める事業
小区分	森林整備

③ 主な業務内容	若齢林（Ⅲ～Ⅶ齢級）の除伐等による森林整備。 造林事業の採択を受けた事業にかかる交付金交付申請、交付決定、検査、確定及び執行管理等の事務。
----------	--

④ 現況と課題（これまでの経過や事業実施の背景）	事業開始年度	平成19年度
森林吸収源対策に向けて、除間伐を実施するとともに、森林所有者の負担を軽減することで持続可能な森林づくりに取り組んでいる。しかし、平成21年12月に国が「森林・林業再生プラン」を策定して、10年後の木材自給率50%以上を目指すこととされた。このため、造林事業は、補助採択要件に施業の集約化と間伐した材を一定量搬出することが付され、従来、採択してきた保育間伐については、一部補助対象外となる森林が出てきたことなどにより、当事業が活用され難い状況となってきた。 しかし、当該事業については、平成19年度から事業を開始し、PR活動も実施してきたことから、森林所有者からの要望も強い。		

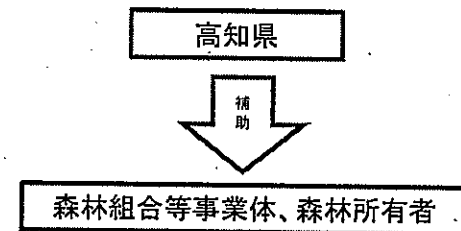
⑤ 目的とねらい	（本事業の目的） CO2吸収効果の高い人工林の間伐を促進することで、荒廃森林の発生を防止し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう森林の整備を図る。 （意図すべき成果） 森林吸収減効果の高い若齢林の整備及び荒廃森林への移行を防止し、将来にわたり健全な森づくりを推進する。
----------	---

⑥ 対象（誰、何を対象とするのか）	●森林所有者 ●造林事業、若齢林（Ⅲ～Ⅶ齢級）の除間伐。
-------------------	---------------------------------

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(見込額)
総事業費(千円)		56,414	61,207	19,297	21,600	8,580
② 財源内訳	森林環境税	56,414	61,207	19,297	21,600	8,580
	一般財源					
	その他					

⑦ 事業内容（手段）	●交付対象の森林 若齢林（Ⅲ～Ⅶ齢級）の除間伐による森林整備。 ●交付の条件 造林事業の採択を受けた事業 上記の要件を満たしたものについては、各事業と併用して補助し、森林所有者の負担を軽減することにより、森林整備の推進を図る。 また、森林環境税のPRを図るために、申請者に対してチラシ、パンフレットを配布する。 【平成25年度計画量】 実施面積 180ha
------------	--

【補助の流れ】



平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業改革課
担当者	吉門 正広
内線	4602

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	事業実施対象件数	120		
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	森林整備面積 (ha)	180		
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	1 ha当たり事業コスト (除伐A)	54,000		
	算定式 事業費÷事業実施面積 円			
	1 ha当たり事業コスト (除伐B)	35,000		
	算定式 事業費÷事業実施面積 円			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明 (担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等 (委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初) 中間・実績

担当課・係名	鳥獣対策課
担当者	大野 幸一
内線	9039

3

① 事業名	・細目事業名：鳥獣被害緊急対策事業費 ・細々目事業名：シカ被害特別対策事業費 ・当該事業名：集落ぐるみ捕獲推進事業
大区分	森林環境の保全を進める事業
小区分	シカ被害対策

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
② 財源内訳	総事業費(千円)					104,000
	森林環境税					40,000
	一般財源					64,000
	その他					

③ 主な業務内容	広範囲に県内の山林に生息するシカを、集落全体で捕獲するために、被害を受けている集落にくくりわなを配布する。
----------	---

⑦ 事業内容(手段)	市町村を通じて、中山間地域の被害を受けている1,300集落にくくりわなを配布する。 ・1集落：10個
------------	---

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度 25
シカの個体数増や生息域が広がり、特に県の東部と西部で食害による農林業被害や自然植生被害が深刻化している。このため、シカ個体数を調整することが必要である。	

⑤ 目的とねらい(成果)	(本事業の目的) 広範囲に県内の山林に生息するシカを捕獲するため、被害を受けている集落にくくりわなを配布し、そのくくりわなを使って集落全体でシカ捕獲に取り組むことを支援する。 (意図すべき効果) シカの個体数を抑制することで、農林業被害や自然植生被害を軽減させる。
--------------	---

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	集落
-------------------	----

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初)中間・実績

担当課・係名	鳥獣対策課
担当者	大野 幸一
内線	9039

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	平成23年度農林被害額(千円)	124,087	/	/
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	平成25年度目標農林被害額(千円)	99,270	/	/
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	配布集落率	80%	/	/
	算定式 成果指標÷活動指標			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	/
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	/
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	/

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	/

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	/

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート① (当初・中間・実績)

4

担当課・係名	環境共生課(自然共生)
担当者	高橋
内線	3214

① 事業名	・細目事業名：希少動植物保護対策事業 ・細々目事業名：希少野生動植物保護対策事業 ・当該事業名：希少野生植物食害対策委託料
大区分	森林環境の保全を進める事業
小区分	シカ被害対策

事業費の推移	H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)	
総事業費(千円)	2,964	2,559	6,253	9,250	10,394	
② 財源内訳	森林環境税	2,964	2,559	6,253	8,981	10,394
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	①希少野生植物の食害状況調査、保護柵設置候補地選定、保護柵設置計画作成 ②保護柵設置、保護策の補修 ③保護柵設置後のモニタリング調査
----------	--

④ 事業内容(手段)	<p>(1) 調査・検討・対策計画 野生植物に関する専門的知識を持つ者による調査・検討及びその結果、専門的知見により防鹿柵(保護ネット)設置計画を立て、防鹿柵設置時においては現地で作業指示を行う。</p> <p>(2) 対策の実施(防鹿柵設置) 防鹿柵(保護ネット)設置計画に基づき、野生植物の専門知識を持つ者の指示のもと、防鹿柵設置作業を行なう。 防鹿柵(保護ネット)の設置にあたっては、急斜面等への設置等素人による作業が困難な事態も予測されるため、管轄の森林組合に資材の調達・設置作業を委託する。</p> <p>(3) モニタリングの実施 昨年度までに設置した保護ネットの効果を把握するため、生育範囲拡大などの回復状況確認のモニタリングや現地ヒアリングを行い、植物個体群や防鹿柵の破損状況を把握のうえ適切な処置を行う。</p>
------------	---

④ ⑤ ⑥	<p>【現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)】 事業開始年度 平成20年度</p> <p>平成20年度より特にニホンジカによる希少野生植物の食害が深刻化し、このまま食害が進むと近い将来希少野生植物が絶滅する可能性の高い山域の被害実態調査を実施し、その状況に応じて緊急性の高い場所に防鹿柵(保護ネット)の設置を行うなど、希少野生植物の保護を図っている。</p> <p>○平成20年度 【調査】 県東部の三嶺・石立山周辺 【柵設置】 石立山(175.5m) ○平成21年度 【調査】 県西部の四方十川流域 【柵設置】 三嶺(3箇所:140.6m)、石立山(1箇所:48.7m)、三原村今ノ山(2箇所:95.6m) ○平成22年度 【調査】 県中部の本山町白髪山周辺 【柵設置】 三嶺(1箇所:120m) ○平成23年度 【調査】 工石山、桑の川、石立山、三嶺、中土佐町、堂ヶ森、中津明神 【柵設置】 三嶺(2箇所:100m) 桑の川(2箇所:100m) 中津明神(2箇所:200m)、大野見(1箇所:250m) ○平成24年度 【調査】 宿毛市平田町、三辻山、大座礼山、竜王山、笹ヶ峰、梶ヶ森、三麗、西又山、安田町中ノ川 【柵設置】 安芸市熊押山国有林(1箇所:50m)、工石山(1箇所:50m)、石立山(3箇所:300m)、三嶺(1箇所:150m)、堂ヶ森(1箇所:100m)</p> <p>また、設置した防鹿柵の効果把握するため、生育範囲拡大などの回復状況確認のモニタリングを行い、植物個体群や防鹿柵の破損状況を把握のうえ適切な処置を行う。</p>
-------	--

⑤	<p>【目的とねらい】</p> <p>(事業の目的) 県内の山岳地帯において、この3～4年でニホンジカによる食害が非常に拡大しており、希少野生植物にも大きな被害が発生しているとの情報が、民間の自然保護団体などから寄せられている。 県では、ニホンジカによる希少野生植物への影響を十分に把握していないため、被害の実態を調査するとともに緊急にその対策を講じる必要がある。</p> <p>(意図すべき成果) 全県的な被害状況を把握し、現地調査等を行い急激な食害進行に早急に対応し、希少野生植物の保護に努める。</p>
---	--

⑥	<p>【対象(誰、何を対象とするのか)】</p> <p>県内に分布する保全上重要な野生植物</p>
---	---

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初)中間・実績

担当課・係名	環境共生課(自然共生)
担当者	高橋
内線	3214

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	防護柵設置計画作成	7	/	/
	算定式 新規計画作成箇所数			
	防護柵設置(柵延長距離)	650		
	算定式 柵延長距離(m)			
II 成果指標 (アウトカム)	植生回復状況(各調査地点1㎡当りの植生率(%)の推移)	81		
	算定式 植生率(%)がアップした柵内方形区数÷柵内方形区調査(H24以前設置)数(%)			
	防護柵設置により保護される希少植物優先度点数	84		
	算定式 高知県レッドリスト・環境省レッドリスト・高知県固有評価のランク別配点による点数			
III 効率指標 (事業コスト)	保護柵1箇所設置に係る経費	873,857		
	算定式 事業費(調査+設置)÷新規設置箇所数			
	設置済保護柵1箇所当りモニタリング経費	194,409		
	算定式 事業費(モニタリング調査)÷モニタリング箇所(H24以前設置)数			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	/
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	/
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	/

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	/

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	/

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初)中間・実績

担当課・係名	生涯学習課
担当者	瀬沼 健
内線	4629

5

① 事業名	・細目事業名：環境学習推進事業費 ・細々目事業名：環境学習推進事業 ・当該事業名：環境学習推進事業
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	森林環境教育

③ 主な業務内容	・学習プログラム作成委託にかかる事務。 ・指導者養成研修委託にかかる事務
----------	---

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	平成23年度
平成22年度に開催した「全国生涯学習フォーラム高知大会」における「環境フォーラム」での提言を受け、NPO等の団体や学校、社会教育施設が連携した自然体験活動や環境学習を推進する。そのために、森林率日本一の本県の自然を生かした自然体験活動や環境教育における次代を担う人材の育成を担う、指導者の研修や育成が重要である。 また、子どもたちを取り巻く大人も含め、森を大切にし、自然と共生する社会の実現に向けて、県民の意識の向上を図ることが必要である。		

⑤ 目的とねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習プログラム作成」 森・山とのつながりを意識し川や街(身近な場所)をテーマに、新学習指導要領の内容に即した自然環境を活用した各教科などの理解を促進する環境学習プログラムを作成する。 ○「指導者養成研修等委託業務」 森のようちえんをはじめとした幼少期の子どもを含め青少年向けの自然体験活動プログラムの指導できる自然体験リーダー、自然体験活動プログラム企画・実施ができる自然体験インストラクターを養成する。 ・自然体験リーダー養成は、主に森のようちえん等の幼少期(概ね3歳から10歳)の子どもを対象とした体験活動指導力のある人材の養成を行う。 ・自然体験インストラクター養成は、幼少期から青少年等のより幅広い年齢層を対象とした体験活動指導力のある人材の養成を行う。 ○「情報共有・情報提供」 高知体験学習ガイドポータルサイトにおいて、自然体験・環境学習に関する情報(イベント、各種団体、場所等)を広く提供するとともに、青少年の体験活動の意義や効果について啓発を図る。 あわせて、自然体験活動指導者に対し、安全管理や活動プログラム等に関する情報を提供することにより支援を行う。
----------	--

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ○「自然体験リーダー養成」：幼少期の自然体験活動(森のようちえんの活動)に関わる大人 ○「自然体験インストラクター」：自然体験活動の指導に関する研修の受講経験がある方、自然体験活動や環境学習の指導及び指導補助の経験者
-------------------	---

② 事業費の推移	H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)	0	0	6,219	1,882	1,555
財源内訳	森林環境税		1,953	1,882	1,555
	一般財源		0	0	
	その他				

⑦ 事業内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習プログラム作成」 単独随意契約により締結。 森・山とのつながりを意識し川や街(身近な場所)をテーマに、新学習指導要領の内容に即した自然環境を活用した各教科などの理解を促進する環境学習プログラムの作成業務を委託する。 ○「幼少期の自然体験活動指導者研修」 単独随意契約により締結。 幼少期の子ども等へ自然体験活動を提供している指導者等に対して、安全管理についての体系的な研修の機会とすると共に、幼少期の子ども等の保護者に対して、自然体験活動における安全管理の基本概念を啓発するために、研修会の企画及び実施業務を委託する。 安全管理や学校支援の関することや体験活動の知識技能等22・5時間の研修を実施する。 ○「指導者養成研修」 単独随意契約により締結。 自然体験活動や環境学習の企画・運営、各団体間の連絡調整を行う指導者を養成する研修事業の企画と実施業務を委託する。
------------	--

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初)中間・実績

担当課・係名	生涯学習課
担当者	瀬沼 健
内線	4629

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	学習プログラム作成委託	1	/	/
	算定式 1団体			
	自然体験活動指導者研修実施数	2		
算定式 2種類				
II 成果指標 (アウトカム)	学習プログラム作成数	12	/	/
	算定式 12プログラム			
	自然体験活動指導者研修参加者数	48		
算定式 2.4人+2.4人				
III 効率指標 (事業コスト)	1学習プログラム作成あたりのコスト	41,667	/	/
	算定式 学習プログラム作成委託費÷プログラム数			
	自然体験活動指導者研修参加者1人あたりのコスト	14,083		
算定式 自然体験活動指導者研修事業費÷参加者数				

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	/
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	/
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	/

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	/

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	/

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初・中間・実績)

担当課・係名	高等学校課
担当者	宮川 真澄
内線	4851

6.1

① 事業名	・細目事業名：森林環境保全事業 ・細々目事業名：高校生森林環境理解事業 ・当該事業名：高校生森林環境理解事業
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	森林環境教育

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
② 総事業費(千円)		904	1,008	985	1,066	1,101
財源内訳	森林環境税	904	1,008	985	1,066	1,101
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	河川の水質検査や間伐材利用をとおして森林環境の保全を理解し支援できる人材の育成を図り、将来の森林の保全に具体的に取り組んでいく姿勢を育成する。
----------	---

⑦ 事業内容(手段)	
------------	--

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	平成20年度
体験を重視した学習活動により、森林の重要性・環境問題について生徒自ら考えることが出来るようになり、学習内容を発表することで社会性の伸長を目指すキャリア教育にもつながっている。課題としては、活動が多岐に渡るため、時間的余裕が少ない。教科教育との兼ね合いも含めより効果的な環境教育を推進していく必要がある。		

⑤ 目的とねらい	四万十川流域の貴重な動植物の生態の学習及び水質調査、四万十川源流域で独特の森林植生の学習や、森林の管理が下層植生にどのような影響を与えるかの調査、鏡川と浦戸湾を題材とし、森林と川と海のつながりを考える。鏡川の水生物の調査、浦戸湾の生態系に関する調査、牧野植物園でのフィールドワークをとおして森・川・海と結ぶ生態系の成り立ちについて学ぶ。 学校演習林などから搬出した間伐材を利用し、木材加工製品を製作し地域の保育園等に配布し将来の木材需要の向上を図る。
----------	--

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県内河川及び山(生徒)
-------------------	-------------

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	高等学校課
担当者	宮川 真澄
内線	4851

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
⑧ I 活動指標 (アウトプット)	取り組み回数	20		
	算定式			
	算定式			
⑧ II 成果指標 (アウトカム)	取り組み回数	20		
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	取り組み1回当たりに要する経費	22,020		
	算定式			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
⑨ I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
⑨ II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
⑩	<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
⑪	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初)中間・実績

担当課・係名	高等学校課
担当者	宮川 真澄
内線	4851

6.2

①	事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・細目事業名：森林環境保全事業 ・細々目事業名：高校生後継者育成事業 ・当該事業名：高校生後継者育成事業
	大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
	小区分	森林環境教育

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)		367	164	118	192	228
②	財源内訳					
	森林環境税	367	164	118	192	228
	一般財源					
	その他					

③	主な業務内容	林業関係学科に学ぶ生徒を対象に、林業に関する資格取得を推進し、将来の林業を担う人材の育成を図る。
---	--------	--

⑦	事業内容(手段)	車両系建設機械運転技能講習の受講。 関係法令学科試験。
---	----------	--------------------------------

④	現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	平成20年度
	林業の現場で幅広く使用される車両系建設機械の種類や構造、操作について理解を深め、始業前点検から作業終了後の保管まで安全かつ確実に実行できる技能を習得させる。課題としては講習により、安全な機械の運転方法を学ぶことが出来たが、限られた時間の中では実践的な運転技能の習得までは難しい。		

⑤	目的とねらい	将来の林業従事予定者を育て、資格取得後の技術の向上、継続的な環境教育・キャリア教育に結びつける。
---	--------	--

⑥	対象(誰、何を対象とするのか)	資格(生徒)
---	-----------------	--------

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	高等学校課
担当者	宮川 真澄
内線	4851

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	取り組み回数	1		
	算定式			
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	参加人数	20		
	算定式			
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	参加者一人当たりに要する経費	11,400		
	算定式 事業費÷参加人数			
	算定式			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明 (担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等 (委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初) 中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	吉田日和
内線	4586

7

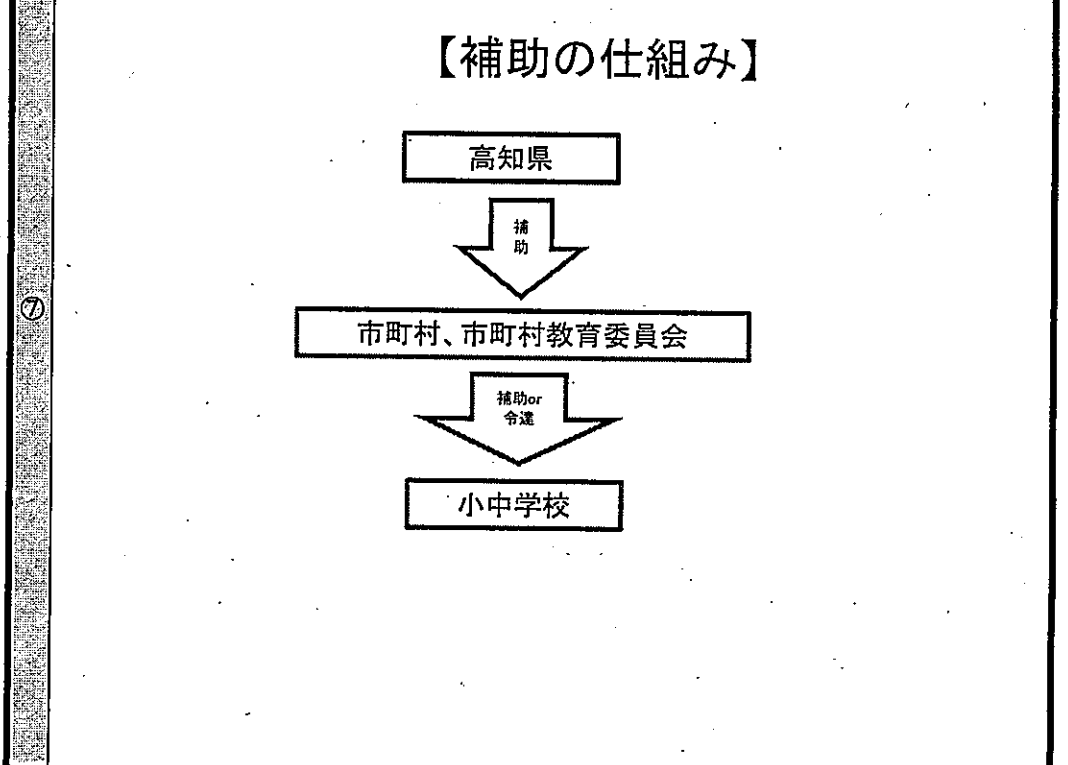
① 事業名	<ul style="list-style-type: none"> 細目事業名：県民参加の森づくり推進費 細々目事業名：山の学習支援事業費 当該事業名：山の学習支援事業費補助金
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	森林環境教育

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)		6,678	8,584	9,260	9,946	10,000
② 財源内訳	森林環境税	6,678	8,584	9,260	9,946	10,000
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	総合的な学習の時間において、年間を通して森林環境学習を実施する小中学校等へ、学校独自の取り組みを進めるために補助する。
----------	---

④ 事業内容(手段)	総合的な学習の時間において年間を通して森林環境学習を実施する小中学校等へ、学校独自の取り組みを進めるために補助する。
------------	--

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	平成16年度
<p>平成7年に策定された木の文化県構想は「木と人との共生」を基本理念として、人と木のより深い関わりと多様なあり方を追求し、木に対する色々な知識を蓄積しながら、木の循環に配慮した行動につなげていくことを狙いとしている。この中の3つの視点の一つである「木を育てる」視点から、森林率全国一を誇る本県において、昔から培われてきた「木の文化」を身につけ活動できる人材を継続的に養成する必要がある。また、木や森に関わる人々の技術や伝統を次代に伝えていくことによって、木の文化県構想の定着を図っていく必要がある。</p>		
⑤ 目的とねらい	<p>森林県である本県の子供達に「木の文化」が身に付くような学習への支援を行うことによって、子供達が森林への理解や関心を深め、将来に渡って大切な山や森を守っていく心を育むことを目的とする。</p>	
⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	<p>県民(小中学生等)</p>	



平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	吉田日和
内線	4586

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	事業回数	46	/	/
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	県民参加人数	3,948	/	/
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	参加した県民一人当たりの経費	2,533	/	/
	算定式 事業費÷県民参加人数			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	/
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	/
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	/

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	/

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	/

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

8.1

① 事業名	・細目事業名：県民参加の森づくり推進費 ・細々目事業名：森づくりへの理解と参加を促す広報事業費 ・当該事業名：森林環境税パンフレット等作成委託料
大区分	県民のみさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	県民の主体的な活動

事業費の推移	H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H24(予算額)
② 総事業費(千円)	300	298	281	729	304
財源内訳	森林環境税	300	298	281	729
	一般財源				
	その他				

③ 主な業務内容	森林環境税に関するパンフレット等の作成
----------	---------------------

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	H15
平成23年度に行った県民世論調査において、森林環境税の課税期間延長に対する賛成意見が76.5%であったが、前回県民アンケートに比べると7ポイント低下しており、活用内容等も含めて森林環境税の認知度が低下しているものと推測される。 このため、森林環境税の制度や使いみちを県民に一層理解してもらい、同税の趣旨を浸透させていくためには、種々の広報媒体を活用して粘り強くPRしていく必要がある。		

⑤ 目的とねらい	幅広い県民を対象に、森林環境税の目的や使いみちなどや森林の大切さなどをPRすることで、県民の同税への理解を促し、県民の「県民参加の森づくり」への自発的な参加のきっかけとなるツールとして活用することを目的とする。
----------	---

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県民
-------------------	----

事業内容(手段)

パンフレット等のデザイン及び印刷を委託形式により実施。

【事業の流れ】

- 1 目玉項目の設定
- 2 サブ項目の設定
- 3 原案のデザイン作成
- 4 発注(委託業者の決定)
- 5 デザイン修正
- 6 成果品受理



パンフレット表裏面



チラシ裏面

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	パンフレット等の発行回数	1		
	算定式 1回			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	パンフレット等の発行部数	20,000		
	算定式 パanf: 10,000部 チラシ: 10,000部			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	広報誌一部当たりの経費(円)	15		
	算定式 事業費÷発行部数			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初)中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課・木の文化
担当者	吉田日和
内線	4586

8_2

① 事業名	・細目事業名：県民参加の森づくり推進費 ・細々目事業名：森づくりへの理解と参加を促す広報事業費 ・当該事業名：森林環境税情報誌作成等実施委託料
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	県民の主体的な活動

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)
② 総事業費(千円)		4,710	4,732	6,665	6,665	6,370
財源内訳	森林環境税	4,710	4,732	6,665	6,665	6,370
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	森林環境税やこうち山の日にに関する取り組みなどを掲載した情報誌等の作成を行う。
----------	---

⑦ 事業内容(手段)	<p>○プロポーザル方式により業者を選定後、委託契約を締結。県民に伝えるべき森林環境税の取り組みや森や山に関する身近な情報を的確に提供するため、編集会議を開催して誌面づくりを行い、県関係機関はもとより、県内各所に配布すべく積極的な発信を行う。また、県内外の道の駅や県外事務所などへ夏(6月)秋(10月)各105,000部 計21万部を発行するとともに、県内の量販店、喫茶店、レストラン、コンビニなど約2,500箇所と全小中学校児童生徒に配布する。あわせて、県HPで誌面と同内容を掲載している。</p> <p>【平成23年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行部数 年2回発行(6月、10月) 各105,000部 計21万部発行 配布先 県内の量販店、コンビニ、四国の道の駅等、約2,500箇所及び県内全小中学校児童生徒約6万人
------------	--

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度 平成19年度
森林環境税を活用して、県民参加の森づくりを推進して来ているが、若い年齢層や子育て年齢層、児童・生徒にとっては、森や山への理解や関心があまり高くない状況にある。	
⑤ 目的とねらい	<p>(本事業の目的) 森や山に関する情報提供と森林環境税を活用した事業の取り組みなどを、県民に分かりやすく伝えることとによって、森林の大切さなどの理解と関心を深めてもらうことを目的とする。</p> <p>(意図すべき成果) 全国一の森林県である本県の84%を占める山林の公益的機能の大切さが、県民各層に理解されるとともに、森林環境保全のために役立つ森林環境税の重要性を幅広い県民に認識していただくことを目指す。</p>
⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県民(20代~40代の女性、県内小中学校の全児童・生徒及びその親)

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート②

①(当初)・②(中間)・③(実績)

担当課・係名	林業環境政策課・木の文化
担当者	吉田日和
内線	4586

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
⑧ I 活動指標 (アウトプット)	広報誌総発行部数	210,000	/	/
	算定式 105,000部×2回			
	広報誌発行回数	2		
	算定式 6月、10月			
II 成果指標 (アウトカム)	広報誌読者数	105,000		
	算定式 県内全小中学校児童・生徒及び県内観光施設等			
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	発行一回当たりの経費	3,185,000		
	算定式 総事業費÷年間総発行回数			
	広報誌一部当たりの経費	30.3		
	算定式 総事業費÷年間総発行部数			

評価の項目	評価の結果	説明
⑨ I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	/
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	/
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	/

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	/

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	/

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初・中間・実績)

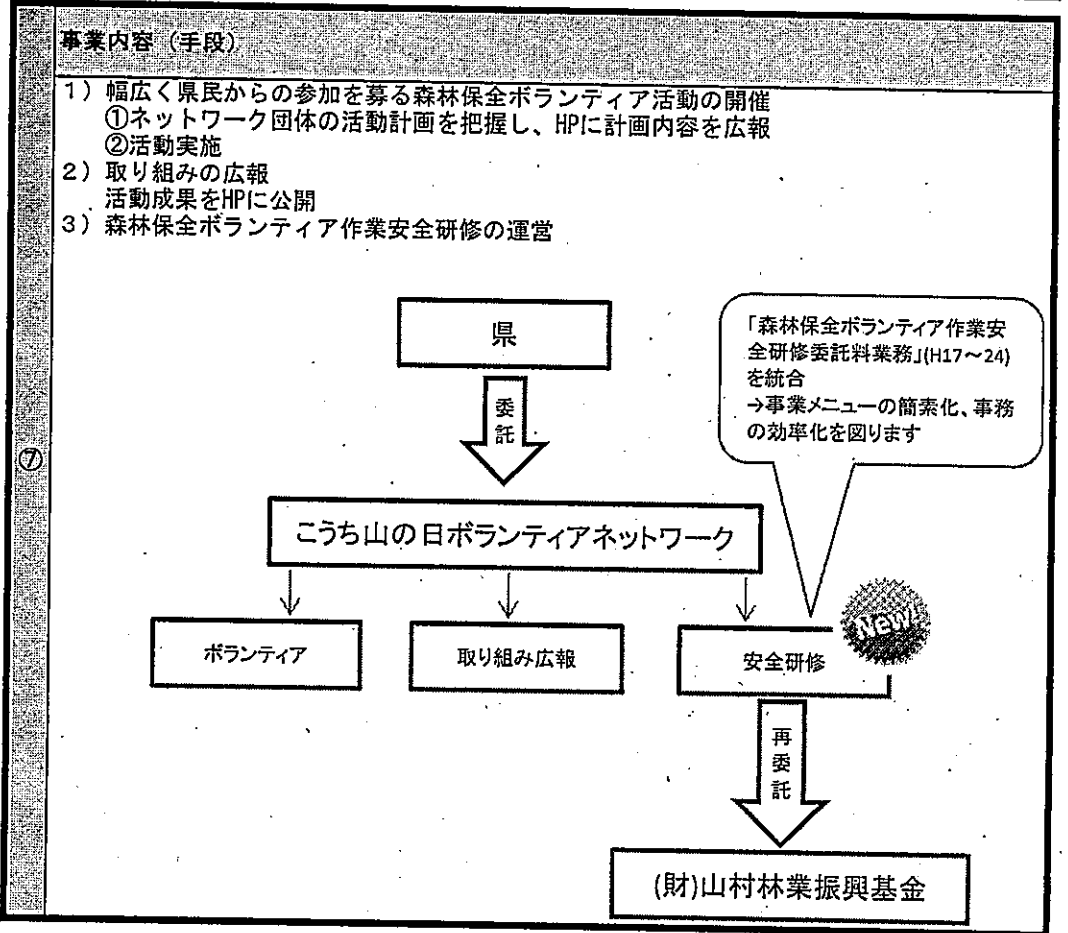
担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

9_1

① 事業名	<ul style="list-style-type: none"> 細目事業名：県民参加の森づくり推進費 細々目事業名：こうち山の日推進事業費 当該事業名：こうち山の日県民参加支援事業委託料
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	県民の主体的な活動

事業費の推移	H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)	
総事業費(千円)	1,492	945	1,500	1,800	1,625	
財源内訳	森林環境税	1,492	945	1,500	1,800	1,625
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 幅広く県民からの参加を募る森林保全ボランティア活動の開催 取り組みの広報 森林保全ボランティア作業安全研修の運営
----------	--



④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	H18
<p>「こうち山の日」の活動をはじめとする「県民参加の森づくり」を推進するため、県内の森林保全ボランティア団体の統轄機関である「こうち山の日ボランティアネットワーク」を事業実施団体に定め、会員団体が県内全域で森林保全活動を積極的に展開している。</p>		

⑤ 目的とねらい	幅広く県民からの参加を募る森林保全ボランティア活動などの取り組みを通じて、幅広く県民に森林への理解と関心を深めてもらうことを目的とする。
----------	--

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県民
-------------------	----

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
⑧ I 活動指標 (アウトプット)	森林保全に関する活動回数	30		
	算定式			
	作業安全研修受講者数	2		
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	県民参加人数	500		
	算定式			
	作業安全研修受講者数	30		
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	当事業に参加した県民一人当たり に要する経費(円)			
	算定式 事業費÷県民参加人数			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
⑨ I 妥当性 (実施主体・手段等 は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上 がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた 効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート① (当初)中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	吉田日和
内線	4586

9.2

① 事業名	・細目事業名：県民参加の森づくり推進費 ・細々目事業名：こうち山の日推進事業費 ・当該事業名：こうち山の日推進事業費補助金
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	県民の主体的な活動

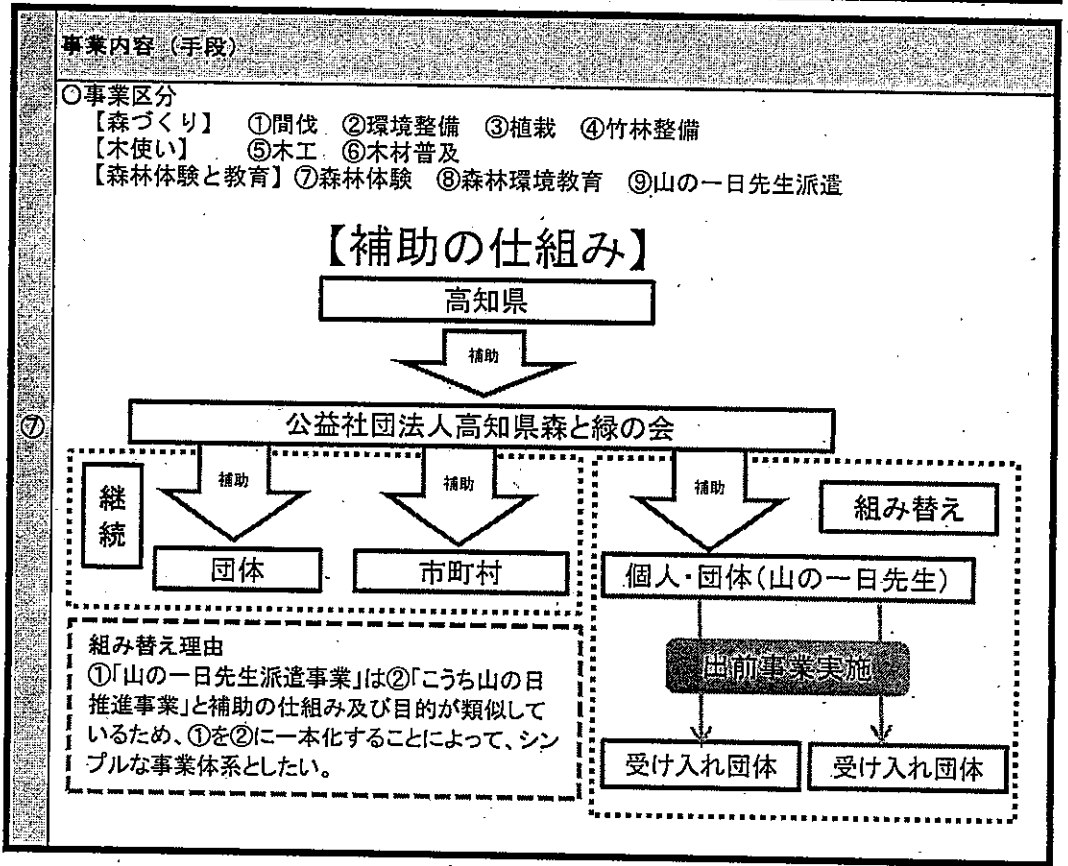
③ 主な業務内容	「こうち山の日」に関する普及啓発事業及び森の案内人の養成に取り組む団体等に対して補助する。
----------	---

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	H15
人と木の共生を基本理念とした「木の文化県構想」の一環として、県民一人ひとりに森林や山を守る活動の重要性に対する理解と関心を深めてもらうことを制定趣旨として「こうち山の日」が制定された。しかし「こうち山の日」の県民に対する認知度は必ずしも高くないため、今後も、継続的な普及啓発を行う必要がある。		

⑤ 目的とねらい	「こうち山の日」の制定趣旨に基づいた普及啓発に資する取組を総合的に支援することによって、豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育て次代へと引き継いでいくことを目的とする。
----------	---

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県民
-------------------	----

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)		7,650	9,763	7,947	9,768	12,311
② 財源内訳	森林環境税	7,650	9,763	7,947	9,768	12,311
	一般財源					
	その他					



平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	吉田日和
内線	4586

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
⑧ I 活動指標 (アウトプット)	事業回数	100		
	算定式			
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	県民参加人数	7,000		
	算定式			
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	参加した県民一人当たりの経費	1,759		
	算定式 事業費÷県民参加人数			
	算定式			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
⑨ I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明 (担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等 (委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

当初・中間・実績

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

10

① 事業名	<ul style="list-style-type: none"> 細目事業名：県民参加の森づくり推進費 細々目事業名：森林保全ボランティア活動推進事業費 当該事業名：森林保全ボランティア活動推進事業費補助金
大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
小区分	県民の主体的な活動

事業費の推移	H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)	
総事業費(千円)	1,744	3,759	2,072	2,133	2,158	
② 財源内訳	森林環境税	1,744	3,759	2,072	2,133	2,158
	一般財源					
	その他					

③ 主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 間伐に必要な機械器具等の整備に対する定額補助 2) 木材利用に必要な機械器具の整備に対する定額補助 3) 間伐等森林整備の実施に対して交付する地域通貨の精算 4) 間伐等森林整備の実施に対して必要な機械経費等の補助
----------	---

⑦ 事業内容(手段)

- 1) 間伐に必要な機械器具等の整備に対する定額補助
新規に設立された森林保全ボランティア団体に対して、チェーンソーや安全防具などを上限25万円で補助
- 2) 木材利用に必要な機械器具の整備に対する定額補助
「こうち山の日ボランティアネットワーク」に対して、林内作業車などの木材利用機械を補助
- 3) 間伐等森林整備の実施に対して交付する地域通貨の精算
森林保全ボランティアが行う間伐などの森林保全活動に対する機械経費等を地域通貨券で補助
- 4) 間伐等森林整備の実施に対して必要な機械経費等の補助

④ 現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	H16
<p>木材価格の下落や中山間地域の高齢化などが原因で増加する荒廃森林を解消するために、森林組合等の事業体のみならず、県民が「緑のサポーター」となって積極的に森林整備に参加することが望まれた(平成12年度当時)。</p> <p>現在(平成24年度)は、1,000人を超える県民が各地で健全な森づくりのため間伐等の森林整備を行っており、森林保全ボランティア活動にかかる経費面のサポートを行う必要がある。</p>		

⑤ 目的とねらい(成果)	<p>森林整備を実践する森林保全ボランティア団体の設立や間伐活動を支援することによって「県民参加の森づくり」を推進することを目的とする。</p>
--------------	--

⑥ 対象(誰、何を対象とするのか)	県民
-------------------	----

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初)中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	機械器具支援団体数	2		
	算定式			
	地域通貨利用団体数			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	機械器具導入セット数	2		
	算定式			
	地域通貨等利用面積 (ha)	25		
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	機械器具1セット当たりの経費	250,000		
	算定式 事業費÷セット数			
	地域通貨利用面積1ha当たりの経費	60,000		
	算定式 事業費÷面積			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート① (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

11

①	事業名	・細目事業名：県民参加の森づくり推進費 ・細々目事業名：運営委員会等開催費 ・当該事業名：事務費
	大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
	小区分	県民の主体的な活動

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24(見込額)	H25(予算額)
総事業費(千円)		764	905	852	1,000	2,041
② 財源内訳	森林環境税	764	905	852	1,000	2,041
	一般財源					
	その他					

③	主な業務内容	森林環境保全基金の運営を適正に行うため、基金運営委員会の開催等を行う。
---	--------	-------------------------------------

事業内容(手段)
森林環境保全基金の運営を適正に行うため、基金運営委員会の開催等を行う。

【主な取り組み】
・基金運営委員会の開催 年6回
・先進地視察 年1回

⑦ 森林環境税による事業の仕組みについて

```

    graph TD
      Citizens[県民] -- "県民税均等割の超過課税(森林環境税)と、  
同税の趣旨に賛同して寄せられる寄付金" --> Accumulation[積立]
      Accumulation --> Fund[森林環境保全基金]
      Fund -- "基金からの繰入金" --> Committee[基金運営委員会]
      Committee -- "県民意見の反映・透明性の確保" --> Activities[森林環境を保全する事業]
      Committee -- "県民の意見を検討に反映" --> Citizens
  
```

④	現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)	事業開始年度	H18

⑤	目的とねらい	森林環境保全基金の運営を適正に行う。

⑥	対象(誰、何を対象とするのか)	県民
---	-----------------	----

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	林業環境政策課
担当者	出口和樹
内線	3140

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	委員会等開催回数	7		
	算定式			
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	延べ委員出席者数	70		
	算定式			
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	委員会一日一人あたりに要する経費	11,000		
	算定式 報酬+旅費			
	算定式			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明(担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等(委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	

平成25年度 森林環境税活用事業事業評価シート①

(当初)中間・実績

担当課・係名	木材産業課 木材利用促進
担当者	山崎 洋
内線	4592

12

①	事業名	・細目事業名：県産材需要拡大対策事業費 ・細々目事業名：木の香るまちづくり推進事業費 ・当該事業名：木の香るまちづくり推進事業費補助金
	大区分	県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め広げる事業
	小区分	木材利用

③	主な業務内容	県内の公共的施設や学校施設、屋外景観施設等において県産材を活用した施設の整備や木製品の導入などに対して支援
---	--------	---

現況と課題(これまでの経過や事業実施の背景)		事業開始年度	平成20年度
④	<p>長引く木材価格の低迷等により、間伐などの手入れがされず荒廃森林が増加。木を使うことにより持続可能な山の暮らしを支えるとともに公益的機能の発揮される森づくりの支援が必要。</p> <p>森林環境税2期目の平成20年度から次世代を担う子ども達への木とふれ合う機会の提供及び不特定多数の方が訪れる公共的施設の内外装整備による木の良さの普及を図り需要拡大につなげるため、小中学校等への木製の机、椅子等の導入、公共的施設の内外装整備に対して支援。</p> <p>平成21年度からは、バス待合所整備等にも対象を拡大し、平成22年度に「木の香るまちづくり支援事業」に一本化。</p> <p>平成24年度は、公共的施設8箇所、学校関連施設35箇所、屋外景観施設3箇所に支援を行った。</p>		
	<p>⑤ 目的とねらい</p> <p>(目的) 木の良さをPRして需要拡大を図り、持続可能な山の暮らしを支える森づくりの支援につなげる。</p> <p>(成果) 木材の地産地消の意識が定着し、県産材があらゆるところで積極的に使用されている。</p>		
⑥	<p>対象(誰、何を対象とするのか)</p> <p>次世代を担う子ども達及び一般県民等</p>		

事業費の推移		H21(決算額)	H22(決算額)	H23(決算額)	H24 (決算見込み額)	H25(予算額)
②	総事業費(千円)	21,423	32,533	43,735	48,108	40,144
	森林環境税	21,423	32,533	43,735	48,108	40,144
	財源内訳					
	一般財源					
	その他					

事業内容(手段)	
⑦	<p>①公共的空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助内容：木質内外装整備等 ・補助先：市町村、社会福祉法人、医療法人等 ・補助率：1/2以内(限度額4,000千円)
	<p>②学校関連環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助内容：学校等に木製の机、椅子、遊具などを導入 ・補助先：市町村、社会福祉法人、学校法人等 ・補助率：1/2(補助金額25千円以上、限度額4,000千円)
	<p>③屋外景観施設等整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助内容：木製のバス待合所や休憩所、案内看板等の屋外景観施設整備 ・補助先：市町村、団体等 ・補助率：1/2(補助金額50千円以上、限度額4,000千円)

平成25年度 森林環境税活用事業評価シート② (当初・中間・実績)

担当課・係名	木材産業課・木材利用推進
担当者	山崎 洋
内線	4592

指標の種類	指標名/算定式	H25目標値	H25中間値	H25実績値
I 活動指標 (アウトプット)	補助金投入額	40,144千円		
	算定式			
II 成果指標 (アウトカム)	施設利用者数	1,000,000人		
	算定式			
III 効率指標 (事業コスト)	1人当たりPRコスト	40円		
	算定式 40,144千円/1,000,000人			
	1箇所当たり整備コスト	802,880円		
	算定式 40,144千円/50箇所			

評価の項目	評価の結果	説明
I 妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	<input type="radio"/> A. 妥当である <input type="radio"/> B. 概ね妥当である <input type="radio"/> C. あまり妥当でない <input type="radio"/> D. 妥当ではない	
II 成果 (意図した成果は上がっているか)	<input type="radio"/> A. 上がっている <input type="radio"/> B. 概ね上がっている <input type="radio"/> C. あまり上がっていない <input type="radio"/> D. 上がっていない	
III 効率性 (コスト面からみた効率性はどうか)	<input type="radio"/> A. 高い <input type="radio"/> B. 概ね高い <input type="radio"/> C. あまり高くない <input type="radio"/> D. 高くない	

総合評価	説明 (担当課記入欄)
<input type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D	

今後の方向性	見直しの具体的方策に関する意見等 (委員記入欄)
<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	